

日 時：平成 27 年 9 月 1 日（火）18 時 30 分 ～20 時 10 分

場 所：石郷多目的研修集会施設

対象地区：石郷

参加人数：10 名

■要望、質疑応答

内 容
<p>○道路整備について</p> <p>（市民からの要望・質問）</p> <p>通学路へのガードレール設置について去年要望したが、先日の町会役員会で今年も再度要望することで話しあった。</p> <p>柏木小学校への道路は、道路と田の段差が大きく、冬はすれ違うことができないので歩道を作ってほしい。ガードレールを設置する意見もあるので検討していただきたい。</p> <p>（市の回答）</p> <ul style="list-style-type: none">・川のあるところにはガードレールが必要だが、道路すべてに設置すると冬場はかなり狭くなる。・去年の回答を見ているが、教育委員会はその道路を通学路に設定していない。確かにその道路を通ると近いが、拡幅は相当な距離を買収しなければならない。長期計画の中に入れているが、順番は後の方になっており実現は難しいだろう。丁字路のガードレールは予算がつかなかったので、来年にまわることになる。 <p>（市民からの要望・質問）</p> <p>拡幅できないため、ダンプ等の大型車を時間帯で通行規制したことがあった。現在は、ほとんど大型車は通らなくなった。</p> <p>去年のまちづくり懇談会で、通学路に樹木で覆われ、死角になって危険な箇所があることを話した。すぐに対応してもらい、所有者が伐採していたのでありがたかった。</p> <p>原田へ向かう丁字路だが、青森リバーテクノ(株)平賀工場まで右側の側溝が L 型であり、左側が土側溝である。現場を見なければわからないと思うが、通学に使用する道路なので危ない。</p> <p>（市の回答）</p> <ul style="list-style-type: none">・道路拡幅やガードレールの設置は難しい。距離はどれくらいか。 <p>（市民からの要望・質問）</p> <p>距離は 250m 位である。1 m 50 c m 位の大きさの L 型側溝が入っている。拡幅は難しいのでガードレールで対応できないか。</p>

(市の回答)

- ・現場を確認する。

○老人クラブの補助金申請書類等について

(市民からの要望・質問)

老人クラブの事務局をしている。年間 46,520 円の補助金をもらっているが、昔から額が変わらない。それに対して補助金の申請書類が多いので、改善できないか。老人クラブの総会資料で足りるはずである。

今年度に入ってから提出書類は、平成 26 年度分については、①事業実績報告書②事業実績書③収入精算書④総会資料である。平成 27 年度については、新たに 46,520 円をもらうために提出する書類として、①老人クラブ補助金交付申請書②事業計画③収支予算書④老人クラブ会則⑤老人クラブ事業費補助金請求書⑥通帳⑦役員会員数報告書である。

総会資料には、26 年度事業報告書載せているほか、27 年度の事業計画や収支予算書が載っているので、各老人クラブで出している一番正しい書類といえる。

改善すれば担当者も楽になるのではないか。小さい老人クラブでは困っていて、他に頼んで書いてもらっている。

46,520 円をもらっても、老人クラブ連合会等へ 12,000 円が取られ、34,520 円しか残らない。市役所へ行くたび、もう少し楽にならないかと話している。

(市の回答)

- ・補助金申請の交付手続きのひな形があり、それに則っている。やり方によっては変えることもできるが、1つの課だけで終わることではない。

(市民からの要望・質問)

市の様式であれば変えられるのではないか。高齢者の集まりなので次に引き継ぐためにも楽にしてほしい。会員が集まらないので会費も減り、運営ができなくなってくる。

また、もう 1 つ気になることといえば、大きい町会では老人クラブを複数作っており、各クラブとも 46,520 円をもらい、一緒に研修旅行に行っている。名前だけ分けている状況に矛盾を感じる。改善できるところは改善してほしいので、内部で検討してほしい。

(市の回答)

- ・内部で検討し、簡略化できるものは簡略化したい。
- ・他の老人クラブでも困っていることは、市の担当もわかっているのか。

(市民からの要望・質問)

わかっている。小さい老人クラブでは会計をやる人もおらず、大変である。

65 歳以上が老人クラブに入れるが、なかなか入ってこない。補助金は 1 団体について出すのではなく、人数に対して出せばいいと思う。

(市民からの要望・質問)

戸数の多さで老人クラブを複数作れる等の決まりがないのであれば、石郷でも複数の老人クラブを作ればどうか。

(市の回答)

- ・推測だが、1団体に対していくらか補助しているので、複数の団体ができたのだろう。人数に対して補助を出せば会員が増えるのかもしれない。

(市民からの要望・質問)

人数割+戸数割や均等割+人数割など補助金に段階をつければいいのではないか。

(市の回答)

- ・市独自の申請書であれば変えられるが、国や県からも補助があるので、それについては示された様式を提出しなければならない。
- ・県から3分の1の補助がある。県で認めているので、1町会に複数の老人クラブがあるのだと思う。県からのお金をうまく使ってくださいという意味もあるが、本来の活動からすれば違うのかなという感じはある。団体数が少なければ県からの補助金も少なくなるので、そうしているのではないか。

(市民からの要望・質問)

県の補助も国からきているものではないのか。

(市の回答)

- ・国からきているものもあれば、県単独のものもあり、色々なパターンがある。最低限揃えなければならない書類は省略できないので、市独自で何とかなるものであれば検討する余地はある。
- ・老人クラブ以外にも補助金をもらう団体が苦勞しているのでは、何とか簡略化できないかという声がある。しかし、国や県の補助をもらえば、その様式に則らなければならないので非常に難しいところもあるが、老人クラブについては対応できるか調べたい。

○郷土芸能の映像化

(市民からの要望・質問)

市内に多くの郷土芸能があるが、若い人がだんだんいなくなり、寂れてしまう感じがする。DVDを作って保存していくことを考えているか。

(市の回答)

- ・郷土芸能の保存については、教育委員会が中心となり考えている。市内の獅子踊りは6団体くらいしか残っておらず、練習日の調整がむずかしく苦勞している。教育委員会で様々な大会のVTRを残している。

(市民からの要望・質問)

昭和 51 年頃の町会内班対抗運動会の 8 mm を、総会等の時に鑑賞できるよう DVD にして保存している。

(市の回答)

- ・道の駅いかりがせきの文化観光館を建てる際、体育館に古懸の獅子踊りや久吉の熊踊りの団体を集めて、専門業者に頼んで何方向からも撮影した。一方向からのみ撮影したものは、手の位置など細部がわかりづらい。画、位置、声まで記録するのは難しいが、合併 10 周年の記念として保存するのもいいと思う。

(市民からの要望・質問)

柏木小学校の 4 年生は、毎年荒馬踊りを行っており、柏木町の人が指導している。

(市の回答)

- ・伝統芸能を DVD へ残すことは大事なことである。教育委員会で残していると聞いているので、どの程度まで残しているか調べたい。

○一人暮らし高齢者の除雪について

(市民からの要望・質問)

石郷では、一人暮らしの高齢者の除雪を消防団が行っている。社協等でスノーバスターズを作っているが、地域の人が行うとなれば、人が少なく高齢者がほとんどである。町会の人に頼むにもどうすればいいのかわからない。一人暮らしの高齢者は、やっとなんか年金で生活しており、シルバー人材センターにも除雪を頼めない。

(市の回答)

- ・すべて行政でできないので、地域の方たちに助け合ってもらい、一人暮らしの高齢者へ対応していただく部分がある。
- ・去年、地域で助けあう雪のモデル事業を行った。モデル事業なので 7 町会が参加した。排雪活動の助成、ボランティア活動保険料、準備金等で多くもらっているところで 73,000 円を助成し、高齢者世帯や一人暮らし世帯の屋根の雪下ろし等にに使っていただいた。この需要が増えれば対象町会も増やしていかなければならない。
- ・地域自治組織という学区単位の組織づくりも考えなければならぬと思っている。町会によっては、今のままでいいというところもある。全国的に地域自治組織を作る市町村が増えるだろう。高齢化が進み人が少なくなっていけば、小さい町会では自分たちだけでできることに限度がある。簡単にはいかないが、モデル地域を作ればと思っている。

(市民からの要望・質問)

消防団員等が年 2 回くらい高齢者宅の除雪をしている。定期的にやるとなれば、勤め人が多くできない。

(市の回答)

- ・一人暮らしをしている高齢者を調べると、隣の市町村に息子たちがいたりする。その場合、息子たちに助けてもらえないか。

(市民からの要望・質問)

一人暮らしのお宅に雪を置いていかないようにしているところもあると聞いた。

(市の回答)

- ・一人暮らしのところへ雪を置かない分、他へ倍の量が置かれていく問題がある。
- ・近所でも一人暮らしのところが多く、民生委員が見回りしている。近所の人たちが助け合っている。一斉排雪の際、近隣市町村にいる子供たちに声をかけ、来てもらうことも必要である。

(市民からの要望・質問)

除雪業者は夜中まで除雪するが、その後に降れば、降った雪は1日そのままになる。

(市の回答)

- ・昼に除雪できないためやむを得ない。場所によっては時間までに終えられないところもある。距離ではなく時間で払っているので、業者も丁寧に除雪している。
- ・平成26年度の雪対策モデル事業は、向陽、荒田、館田、平成町、八幡崎、新山、仲町の7町会で行ったが、終了している。今後補正すれば可能性はある。
- ・コミュニティ育成事業奨励金を見直した。増えた町会が多かったが、石郷はそのままである。世帯分離が多くなり、単純に世帯数のみで計算できなくなった。
- ・世帯数の多いところは増えている。世帯数が少ないところは減るので、昨年度と同額にしている。
- ・防災拠点であり、何よりも地域の方が集まる場所がなければならない。耐震改修が必要な集会施設は19か所である。年間1億円ずつ予算を見ており、建築年の早い方から建て替えるか耐震改修するか希望をとっている。建て替えの場合、負担金は1戸あたり15,000円となる。

(市民からの要望・質問)

なるべく個人負担や町会負担が少なくなるようにしたいと考えている。

(市の回答)

- ・石郷多目的研修集会施設は昭和55年に建てているので、建て替えが平成33年度の予定である。建て替える場合、面積は小さくなる。戸数によって面積が変わるので204平米になる。大きく建てたい場合は町会負担が増える。

○住みよさランキングについて

(市民からの要望・質問)

遺族会で集まった際に、あいさつで「住みよさランキング」について話していたそうだが、詳しく知りたい。

(市の回答)

- ・東洋経済新聞社で出している「都市データパック」というものがあり、全国の都市の住みよさをランキングしている。平川市は、ここ3年間は県で1番である。東北・北海道では、一昨年が11番、去年が10番、今年は7番目と順位を上げている。全国では85番目である。
- ・ランキングの指標は、①安心度（病院・老人介護施設数、出生数、保育園の定員等）②利便度（小売業の年間販売額、大型小売店の面積等）③快適度（汚水処理人口普及率、都市公園の面積、転入・転出の人口比率、新設住宅着工戸数等）④富裕度（財政力指数、地方税収入の額、課税対象所得）⑤住居水準の充実度（住宅延べ床面積、持ち家所帯比率）の5つの観点から算出されている。高評価をいただいているので、平川市が暮らしやすいことをもっと広めていきたい。
- ・保育料第二子無料化など子どもを育てやすい環境にする施策をしている。

(市民からの要望・質問)

広報紙に載せるなどし、もっと転入者が増えるよう宣伝してほしい。

(市の回答)

- ・子育て支援策として、子育て世帯への住宅補助をしている。申し込みが多く、市内の若い世帯だけでなく市外など他の地域から来てもらい、平川市で暮らす人を多くしていきたい。

○運動施設について

(市民からの要望・質問)

運動施設には正規の野球場はないのか。

(市の回答)

- ・野球場ではなく、野球とソフトボールができるような多目的グラウンドである。
- ・野球場は尾上にあるので、ぜひそちらを利用してほしい。

(市民からの要望・質問)

尾上の野球場は正規の野球場ではない。陸上競技場はどうか。

(市の回答)

- ・陸上競技場は正規なものである。現在の体育館はあすなる国体前に作られたものなので、

体育館も改築する。

- ・改修してできるだけ長く使えればいいが、改築しなければならなくなった際に合併特例債のような有利な起債がなければ市の負担が多くなる。合併特例債の期間が平成 32 年までであるので、合併特例債や財政調整基金を使っていきたい。

(市民からの要望・質問)

施設を作るのはいいが、維持費が問題である。

ひらかドームも冬は維持費がかかる。

(市の回答)

- ・ひらかドームのおかげで子どもたちのスポーツの活躍がめざましく、グラウンドゴルフ等も冬期間行えるようになった。

○プレミアム付き商品券について

(市民からの要望・質問)

プレミアム付き商品券は、毎戸に配られた葉書と引き換えできると思っていたが、いざ商工会に行ったらなかった。朝 5 時から並んでいる人もいたと聞く。

(市の回答)

- ・プレミアム付き商品券は総額 2 億 4,000 万円分を販売したが、無制限に発行するわけにはいかなかった。
- ・尾上地域では、午後 3 時～4 時くらいまで残っていた。他市でトラブルがあったので、できるだけトラブルがないようにした。

(市民からの要望・質問)

2, 3 時間並ぶだけで、10 万円が 12 万円になると考えればすごいことである。

○防災無線について

(市民からの要望・質問)

防災無線だが、時刻のチャイムは聞こえるが、消防などの臨時放送が聞こえない。

青森リバーテクノ(株)方面は何も聞こえない。外に出ても何を話しているのか聞きとれない。スピーカーの設置場所が間違っている。屯所があるところが石郷の中央なので、そこに設置すれば聞こえる。

(市の回答)

- ・リバーテクノ(株)付近へスピーカーを 1 本増やす。9 月補正で対応する。
- ・市内で何か所か放送が聞こえないところがある。去年から石郷でも要望があったが、今年対応する。

(市民からの要望・質問)

館田の方と若干ずらして放送しているので、反響して聞こえない。消防署の放送は途切れるので何が何だかわからない。

(市の回答)

- ・消防の放送設備を使い、直接、消防が放送した。消防に確認する。

○職員接遇について

(市民からの要望・質問)

職員研修はしているのか。若い職員で対応がなっていない人がいる。

(市の回答)

- ・去年から接遇マニュアルを作って職員に配布し、市民が主役なので対応に気を付けるようにしている。
- ・他にも「①あいさつを先にする。②お礼・お詫びはすぐにしなければならない。③できない理由を探すのではなく、できる理由を探す。」という3つを机の前に貼っておくようにしている。
- ・少しずつでも意識改革をしなければならないと思い、副市長と共に職員との懇談会を開いている。4年間の任期中に職員全員と話し合いたい。
- ・職員と話し合いをしながら行政力を高めていきたいし、市民の皆さんの力を借りながらまちづくりを進めていきたいと思っている。
- ・庁舎内でも外部から講師を招いた研修をしている。職員にとって市民の皆さんが一番のお客様なので、これからも注意し、心がけさせていきたい。

○街灯のLED化について

(市民からの要望・質問)

街灯のLED化の工事はいつからか。もう工事に入ったのか。また、集会所の蛍光灯もLED化できないか

(市の回答)

- ・入札が9/24の予定なので、それ以降である。4地区（平賀東部、西部、尾上、碓ヶ関）に分けて行うことになる。
- ・集会所の蛍光灯LED化は、コミュニティ育成事業奨励金で対応してほしい。